第９期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画　評価表（令和８年度中間評価）

基本目標３　住み慣れた地域における生活の継続支援

評価項目	年間 目標値	中間 実績値	数値 達成度	事務局 総合評価
もーやっこサポート事業登録者数（累積）	120 人	118 人	○	B
	R7 中間評価	104 人	△	B
	目標値には未達。居住支援の住宅管理者が当事業の利用を促進しており、利用者本人及び周囲の安心に繋がっている。			
居住支援協議会を通じた住まいに関する相談件数におけるマッチング件数の割合	50%	22.2% 4 件/18 件	×	C
	R7 中間評価	54.5% 6 件/11 件	◎	A
	目標値には未達。紹介できる居住物件の確保や居住支援の相談体制が課題となっており、支援機関間の連携体制強化が必要である。			

【 数値達成度 （対目標値） 】

◎　100%以上の達成度合

○　75%以上 100%未満の達成度合

△　50%以上 75%未満の達成度合

×　50%未満の達成度合

【 総合評価 （目安） 】

A　優れた創意工夫等を行い、目覚ましい効果を上げることができた

B　創意工夫等を行い、一定程度の効果を上げることができた

C　課題解決に向け、改善に取り組んでいるが不十分である

D　課題が解決されず、効果が上がっていない

総合評価
B

担当部署コメント

もーやっこサポート事業登録者数について、生活を変えることなく、見守りができることを説明しながら利用促進を図るとともに、周知方法について再度検討していく。
居住支援については、相談内容が複雑化していることから、居住支援法人の負担が大きい体制を見直し、支援機関間が綿密に連携して、相談対応を行っていく必要がある。

評価委員会評価

もーやっこサポート事業登録者数について、居住支援等でマッチングにつながった方に対する支援のため居住支援法人が支援するためにもーやっこサポート事業に登録したこと、または、地域包括支援センター等で周知が進んでいることにより、昨年度の同時期と比較して登録者数が伸びていることは評価できる。
居住支援協議会を通じた住まいに関する相談件数におけるマッチング件数の割合について、相談件数が増加するとマッチングの割合は伸び悩む傾向にあるため、第１０期計画では、相談件数において住まいが困らなくなったというような評価指標になるとよいのではないか。